

女性ネットみやぎ結成5周年企画

河合弘之監督講演 & 「日本と再生 光と風のギガワット作戦」

260名参加!

ドキュメンタリー映画 (河合弘之製作・監督/飯田哲也企画・監修)

9月3日(日) 仙台福祉フラザふれあいホール

あの福島原発事故から6年半が過ぎました。

福島では、放射能汚染による避難指示地域の放射能除染が進んだと避難指示を解除し、ふるさとへの帰還を迫っています。とは言え、医療や教育、雇用をはじめ生活環境などの不安は大きく、戻っている多くは高齢世帯です。子どもを抱えて地域社会を担ってくらす世代が、安心して戻るふるさとは、まだまだ程遠い状況です。

女性ネットみやぎが結成されてから5年以上過ぎました。私たちが願う「子どもたちを放射能汚染から守る」ことからさらに遠のき被ばく年間線量を1 mSvから20 mSvに変え、「自然エネルギーへの転換」に背を向けて原発再稼働にひた走る施策には、この国の先行きに不安どころか憤りをも感じてしまいます。「子どもたちを放射能汚染から守り、自然エネルギーへの転換を」という結成時の原点、切実な

願いに立ちもどって考えると、これまでに大きな前進は見つからない、と言う方もいるでしょう。しかし、最近の河北新報アンケートでも、原発再稼働には賛成しない方が7割近くになっており、原発に頼らない太陽光エネルギーの民間導入が大きく進み、原発ゼロを求める共同の力が、全国各地で小さな町でも、声を上げ、運動の輪を広げています。

東北電力は、来年度中には女川原発の再稼働をするため準備を急いでいます。大震災で数え切れないほどたくさんの傷を負った被災原発、地震の影響を世界一受けやすい原発と言われた女川原発の再稼働は、絶対にやめるべきです。

原発後のエネルギーと世界の実情を知り、今後の課題についてともに考える機会になればと考え、「日本と再生」上映と監督講演を企画しました。原発のない安全安心の社会を求めて、引き続きごいっしょに運動を進めていきましょう。

講演の最後に、いつも、福島に思いを寄せて、飯館村の村歌を歌います。



河合監督の講演：原発差し止め訴訟を全国で進めているが、なかなか原発の問題を理解してもらえない状況を何とかしたい、と映画製作を考えた。第一作の「日本と原発」は、これまで1800回以上も各地で自主上映され、7500万円の売り上げを得た。原発の問題点がわかるいい映画になった。更に自然エネルギーが主流になっている世界のエネルギー事情について、日本人の疑問に答える映画をつくらう、とさまざまな方向から検討してこの「日本と再生」を製作した。

①「ドイツの脱原発自然エネルギー転換はインチキ」に答え②「天気任せでは頼りにならない」を解明③「経済的にもきわめて好循環」である＝もうかる事業だと具体的な取材で示した。観た人が自信を持って自然エネルギーを語り、とりくめるようにと考えて作った自信作だ、と。

日本には自然エネルギーが豊富にあり、電気に変える世界トップレベルの技術もある。自然エネルギーへの転換作業を進めていて原発事故が起きたら大変だ。国家予算100兆円と言うが、福島事故の損失は70兆円。原発再稼働するな、と署名してデモして運動してきた、54基のうち今は5基しか動かせない状態だ。ミサイル危機を宣伝しているが、原発のことは言わず無責任に切り離している。本当に国を愛するのなら原発を止める事こそ必要だ。



「日本と再生 光と風のギガワット」 河合監督の製作映画4作目

原発を無くしても、自然エネルギーで地域も経済も再生できる、と確信する監督が、世界の自然エネルギー先進7ヶ国をたずねて、その実情を描きだしたドキュメンタリー映画。環境学者の飯田哲也氏がこの旅に同道している。

日本は、よくよく見れば太陽・風・地熱・バイオマスなどの資源大国。クリーンで安価なエネルギー作戦を、この国でも開始しよう！と熱く訴えている。

県民が決める!女川原発再稼働の是非!

原発技術者が語る女川原発再稼働の問題

入場無料

10月7日(土) 13時~16時半 / 於・仙台市福祉フラザ

主催: 脱原発をめざす宮城県議の会・女川原発の再稼働を許さない!みやぎアクション

放射能汚染ゴミ解決は自治力で

講師 まさのあつこさん

ジャーナリスト・工学博士(2011年東京工業大学大学院
総合理工学研究科博士課程修了)

おもな著作

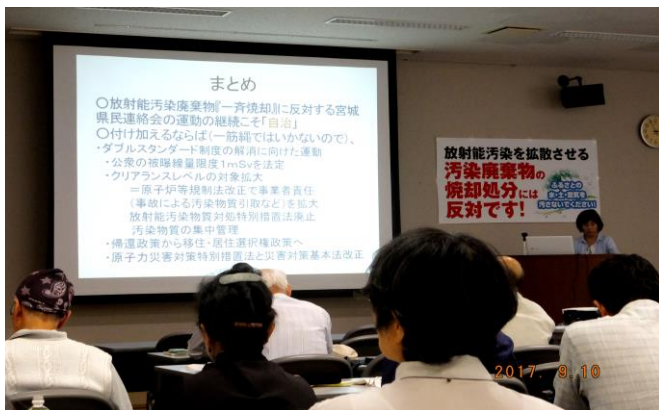
- *『あなたの隣の放射能汚染ゴミ』(集英社新書:2017)
 - *『水資源開発促進法 立法と公共事業』(築地書館:2012)
 - *『四大公害病』(中公新書、2013) など
- 共著 『公害・環境問題と東電福島原発事故』(本の泉社:2016)

村井県知事は、県内の8000 Bq/kg以下の放射能汚染廃棄物を全県一焼却を提案しましたが、市町村長会議では合意できず、各市町村の圏域ごとに進めることになりました。この秋から試験実施、4月から本焼却(すき込み、堆肥化も可)で、放射能をさらにまき散らします。

こうした中、ジャーナリストで放射能汚染ゴミ問題の著書も出しておられるまさのあつこさんの講演会が開催されました。9月10日の仙台弁護士会館には111名、前日の大河原には79名が参加しました。まさのさんは、パワーポイントを使って資料を示しながら、県が主導している進め方の問題点を話し、今後の運動方向を示唆されました。(以下、まさのさんの講演内容の抜粋です。)

ヒロシマ原爆の放射能168.5倍をまき散らしても、この事故責任者は特定されていない。今優先すべきは甲状腺がん検査や健康管理。

特措法の抜け穴：8000 Bq/kg以下の汚染ゴミは各自治体で処理すると決め、8000 Bq/kg以上は、申請によって国の責任となります。しかし、未申請であればゴミがあるとわかりません。8000 Bq/kg以下も同じです。**バグフィルターの捕捉率：**環境省は、焼却施設のバグフィルターは放射能捕捉 99.99%と言い切っていますが、経産省の資料には 60 または 20~30%とあることを示しました。**このごみを公共事業で活用：**さらに危険なことは、汚染ゴミを公共事業で「再生資材」として、道路の盛り土やレンガにして活用することを準備していることです。**被ばく限度の法制化を！**こうした危険を STOP するため、被ばく限度を年間 1 mSv以下にする法律を求めていきましょう。



9条変えるな！変えようアベ政治！ 9・18 宮城県民大集会

大型台風が日本列島を縦断して暴風雨・洪水被害を引き起こしており、集会開催が危惧されましたが、18日朝には強風ながら青空が見えるほどの仙台上空。県内各地から西公園会場には**1600人が参加**。

16人のリレーシャウト(各1分)では、**女性ネットからも「女川原発再稼働させない！」**「放射能ゴミをまき散らすな！」「安倍内閣の退陣と原発NO!の知事を！」と、いつもの横断幕を持って訴えました。(写真→)

西公園から元鍛冶丁公園までデモ行進して、「9条変えるな！」「安倍政治を変えよう！」とシュプレヒコールで、町行く人々にアピールしました。



女川原発再稼働 STOP！放射能汚染ゴミ焼却反対！さらに強く大きな声をあげよう！

原発・放射能・子ども・平和関連の企画など、各地・各団体のとりくみ

◆脱原発デモ・金曜デモなど

- * **旧古川地域：**大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半・あさひ中央公園集合後デモ
- * **塩釜地域：**塩釜きん登デモ・金曜 17時半集合・下馬駅裏宮城県民医連事業協前 17時45分デモ出発
- * **岩沼市：**「原発ゼロ戦争させない岩沼歩き隊」毎月第3金曜日 **14時**岩沼駅東口広場で集会後デモ
- * **仙台長町地域：**第3水曜0時半~原発も戦争もNO!たいはくアクション：仙台長町・蛸薬師境内集会後デモ
- * **仙台中央部：**脱原発みやぎ金曜デモ (女川原発再稼働するな！子供を守れ！汚染はいらない！みやぎ金曜デモ)
9月22日肴町公園・9月29日元鍛冶丁公園18時半集合19時出発



◆10月4日~22日 宮城県知事選挙(総選挙も同時にあるかも...)

◆10月7日13時~16時半「**県民が決める！女川原発再稼働の是非~原発技術者が語る女川原発の問題~**」於・福祉プラザふれあいホール
主催：脱原発宮城県議の会・女川原発の再稼働を許さない！みやぎアクション

◆10月14日(土)14時~「あの日を語りつく 1945年ヒロシマ・ナガサキ そして2011年フクシマ」麦わら帽子の会 入場料300円
於・日本バプテスト仙台基督教会礼拝堂

◆10月15日(日)14時半~16時半「**今こそ原発の廃止を~くらしの安心と安全を考えよう**」講演とパネルディスカッション 於・カトリック元寺小路教会

◆11月12日(日)13時半~15時半「9条に3項を加えるとうなるの?~安倍改憲のねらいは~」講師・佐久間敬子弁護士主催・宮城女性9条の会
於・仙台市市民活動サポートセンター研修室5 参加費300円

◆11月19日(日)13時~「**9条を守り生かす宮城のつよい2017~輝け世界に! 伝えよう未来へ!**」於・仙台サンプラザ大ホール 入場無料
講演「憲法9条の今後」木村草太さん 首都大学東京 教授

◆11月19日(日)13時半~15時 落合恵子講演会「いのちの感受性2017~一人権・平等・平和~」(男女共同参画推進せんだいフォーラム2017)
於・エルパーク仙台ギャラリーホール 参加費800円 申込締切10月31日先着順 主催：せんだい男女共同参画財団

◆12月17日(日)9時半~15時半 第57回宮城県母親大会in宮城野 於・宮城野高校 参加費700円 主催・母親大会実行委員会